

のばこども 通信

発行：社会福祉法人 和枝福祉会
のばこども家庭支援センター
横浜市港南区野庭町631
発行責任者：高橋 智一

令和2年10月 第25号

のばこども家庭支援センターは18歳未満の児童に関する相談を受ける児童福祉法第44条の2で規定されている児童家庭支援センターです。

短い夏休みも終わり、子どもたちは元気に学校に通い始めました。元気な登校の姿は例年と変わりませんが、皆それぞれにマスクを着用しています。新型コロナウイルスの感染拡大で3月に始まった学校休業、分散登校、夏休みの短縮と、子どもたちにとってはいつもと違う学校生活が息つく間もなく展開され、多くの戸惑いもあったと思います。保護者の方々も見通しのきかない日常に戸惑いや不安の多かったことと思います。

誰も経験したこと無い日常が押し寄せ、自らが気づかない暮らしの歪や失われた経験の機会が子どもたちの生活に影響しているのでは心配します。ウィズコロナ、ニューノーマルと言った言葉を目にする機会が多くありますが、このコロナ禍が早くに落ち着き、新しい日常が無理なく過ごせる“日常”となることを願うばかりです。様々な変化に晒されている子どもたちの様子に丁寧に向き合い、コロナ禍において求められるセンターの機能・役割について、感染予防、感染拡大防止の正しい知識をもって、その任が果たせるよう職員一同取り組んでまいります。

のばこども家庭支援センター長

のばこども日記

子育て短期支援事業の様子を紹介(*^_^*)

8月はセンターの隣の野庭中央公園内でセミ取りを楽しみました。十何匹も捕まえる子がいて、汗いっぱいになりながら夢中で遊んでいる様子は夏らしさを感じました。室内遊びとしては、薄暗くした部屋での障害物レースを行う遊びを楽しむ子が多く、子どもたち自身でルールを考えて、工夫して遊んでいました。センターでは、季節関係なく、プラバンは不動の人気のお遊びで、子どもたちは鬼滅の刃やあつ森のキャラクターを作っていました。マスクをしての活動で息苦しさはあるようですが、元気よく遊んでいて、職員のほうが元気をもらっています。

想 感 考 望

のばこども職員のひとりごと...

わたしのストレス解消法♪趣味が元々インドアに偏っているのですが、パソコンで無料映画を観たり、家でギターを弾いたり、お菓子を作ったり...そんな中で一番の癒しは家族である大切なワンコです♡このスペースで何度か書かせていただいているのですが、捨てられた犬猫を預かって新しい飼い主さんを探すお手伝いをしており、現在生後2か月の赤ちゃん犬が来ていて（犬が）環境の変化でおなかを壊したり、夜鳴きで眠れなかったり大変なこともあります。もうひとつはダーツや職場にダーツボードが欲しいと思っている今日この頃です・笑

パーテーション設置しました！

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、皆さま様々な対策を取られていると思いますが、当センターも事務所にパーテーションを設置しました。電話対応の際にはマスクで息苦しかったり、話にくかったりと不便を感じることもありましたが、パーテーションがあることで多少マスクを外して話すことにも安心感が！

しかしこれまでなかった“壁がある”という事に対して違和感も。!?
それならば楽しんでしまおうと、

パーテーションにお絵描き♪
可愛くデコレーションして気分もウキウキ♪



絵本の紹介



おばけとホットケーキ

作・絵：新井 洋行
くもん出版 2015年

可愛いおばけ達がホットケーキを作ります。冷蔵庫を開けて必要な材料を探したり、ページをめくってホットケーキをひっくり返したり、絵本を傾けてジュースをそそいだり...。おばけと一緒にホットケーキを作っている感覚で、子どもは夢中になること間違いなし！遊びながら読める、楽しくて可愛い絵本です♪

のばこども家庭支援センター
☎045-840-5092



◆子ども本人及び子育て家庭の相談・支援◆
月曜日から土曜日まで（祝日、年末年始除く）
受付時間：9時～17時

